

科目（講座名）		現代文 B	2 単位	学校必履修
教科書	高等学校改訂版 現代文 B（第一学習社）		担当教諭	
副教材	完成 現代文（尚文出版） 共通テスト対策 現代文 完答 20（尚文出版）			

学習の目標

一、二年次の学習内容を踏まえ、より高度な現代文の学力を養う。主に現代評論に主眼を置き、現代社会のさまざまな問題点や考え方を知り、社会に対する認識を深めると同時に、論理的な思考力を身につける。また、文章の要約などの作業を通じて、言語による論理的な表現力を高める。併せて、その基礎となる語句や漢字、また文学史を学び、大学入試に対応できる総合的な学力を身につける。

授業内容

- ・現代評論の読解を教材の中心におき、論理的な分析・読解を行い、その内容を整理する要約を通して、論理的な読解力・表現力を身につける。
- ・小説・詩歌においては、近現代の時代背景に注目し、その心情の理解を通じて、現代の社会の問題に関連づけて考える。
- ・漢字・語句の学習は小テストの形で定期的実施する。
- ・近代以降の文学史を定期テストの試験範囲に組み込む。

学習方法

- ・予習の段階で、本文をじっくり読み、語句の意味調べなどしておく。
- ・集中して文章の読解に取り組み、現代評論などの論理的な文章の構造や主題、小説に描かれた状況や心情を把握する。
- ・ノートを必ず用意し、読解した内容を、自分の言葉で整理する。

評価の観点

関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで表現したり、理解したりしようとしたか。
話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手やその場の目的に応じ、筋道立てて話すことができたか。また、的確に聞き取ることができたか。
書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手やその場の目的に応じ、筋道立てて適切に文章として書くことができたか。
読む能力	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ることができたか。
知識・理解	実生活に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、その知識を身に付けられたか。

評価方法

定期考査、課題テスト、提出物、小テスト、出席状況、授業中の学習態度などをもとに総合的に判断し、評価を行う。年度末には、1年間の上記の内容について総合的に判断し、評価を行う。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4 5	2 6	評論	写真の持つ力 未来世代への責任	随想・評論：より抽象度の高い論理的な文章の読み方に習熟し、評論読解の基礎を確立する。また、社会の問題についての理解を深め、自分が主体的に考えていく姿勢を養う。 小説：異なったスタイルの小説に触れ、慣用句や比喻等の修辞法による心情表現の読解力を高める。主題についての考察を通して、現代社会を見つめ直す。 文学史：明治から大正期の文学史を扱う。
	6		小説	檸檬 (中間考査)	
	7		評論	言語が見せる世界 いのちのかたち (期末考査)	
2	9	2 8	評論	身体の個別性 リスク社会とは何か	評論：一学期に習得した評論読解の方法論をより高度のものとし、さまざまな現代社会の問題に触れ、認識を深める。あわせて、大学入試に対応する学力を身につける。 小説：近代の古典的な作品にも触れ、登場人物の心情を的確にとらえ、時代と人間の関係についての関心を深める。また、日本近代のあり方や、戦争について考察する。 文学史：大正から昭和期の文学史を扱う。
	10		小説	舞姫 (中間考査)	
	11 12		評論 評論	現代日本の開化 「である」ことと「する」こと (期末考査)	
3	1	1 6	まとめ	演習	いままでに学習した内容を踏まえて、大学入試問題等の演習を行う。
	2				
	3				